

14. 開国と幕府政治の終わり

日本の開国

輸出入

日本の開国...アヘン戦争で、中国(清)がイギリスに敗れる

→幕府は①異国船打払令を改め、来航する外国船に燃料や食料を支給

・1853年、東インド艦隊司令長官②ハリーが浦賀に来航 黒船

→翌年、③日米和親条約を結ぶ...下田・函館の開港、アメリカ領事の下田駐在

・1858年、大老の④井伊直弼が幕府の判断で⑤日米修好通商条約を結ぶ

⑥神奈川(横浜)・函館・長崎・新潟・兵庫(神戸)の5港を開く

→不平等条約...⑦領事裁判権を認め(治外法権)、関税自主権がない

開国の影響...貿易港に設けられた居留地で貿易

南北戦争(1861~1864)のため

・貿易相手国...アメリカが出遅れ⑧イギリスが中心

・輸入品...安価な綿織物・綿糸→国内の生産地は大きな打撃

・輸出品...生糸。国内で品不足となり他の生活用品も値上がり

⑨金→外国と銀の交換比率が異なったため大量に流出

→物価が不安定になり民衆・下級武士の不満が高まる

⑩安政の大獄...④が対立する大名・公家・長州藩の⑪吉田松陰らを処刑

→⑫桜田門外の変で④が暗殺

攘夷運動の高まり...欧米諸国が軍隊常駐の動き→長州藩を中心に⑬尊王攘夷運動が高まる

・長州藩は公武合体政策を支持する薩摩藩と対立

倒幕への動き 幕府と朝廷が協力し行う政治

・薩摩藩→1863年、⑭薩英戦争がおこる→西郷隆盛・大久保利通らが倒幕の考えを強める

・長州藩→1864年、下関の砲台を占領される→高杉晋作・⑮木戸孝允らが攘夷から倒幕へ

→⑯薩長同盟を結ぶ...土佐藩出身の⑰坂本龍馬らの仲介

新政府の誕生

⑬大政奉還...1867年10月、15代将軍徳川慶喜が朝廷に政権を返還

...12月、天皇中心の政治にもどすことを宣言(⑱王政復古の大号令)

→江戸幕府が滅びる

⑳戊辰戦争...1868年1月、旧幕府軍が鳥羽・伏見で新政府軍と戦いを始める

→1869年5月、旧幕府軍が函館で降伏→新政府軍のもとで国内が統一される

開国の影響と倒幕運動

江戸幕府の滅亡と新政府の誕生

日本の交換比率は 1:5 (金1枚 = 銀5枚)
 海外の " " は 1:15 (金1枚 = 銀15枚)

⑨ **金海外流出** 交換比率の低さ (金と銀やり方)
 → 経済不安定
 ① 外国人は日本で銀5枚と金1枚に交換
 ② 金を海外で銀に交換する15枚
 ③ 日本では銀15枚と金3枚に交換
 ④ 金3枚を海外で銀45枚に交換

⑩ **幕府の大獄**
 井伊直弼に ⑪ **吉田松陰** が処刑される

⑫ **村田門外之史** で暗殺される
 ↑ 江戸城
 ・吉田松陰は井伊のやり方(勝手な条約結成)に反対 → 井伊は反対した人にかたきをつけて処刑
 → 井伊への批判が増える
 → 井伊が暗殺される

・幕府の独断で条約
 ・外国人の駐在
 → ⑬ **尊王攘夷** 運動が高まる
 (おのゝ(外国) ぶつ)

対立していた2藩が 仕返している
 ・薩摩藩... 生麦事件 → ⑭ **薩英戦争**
 西郷隆盛
 ・幕府の政治ではなく 朝廷の政治に反する
 将軍中心 → 天皇中心
 ・長州藩が運動の中心 (藩は果敢な)

仕返している
 ・長州藩... 外国船を砲撃 → ⑮ **四国艦隊**
 ⑮ 戸孝允
 下関砲撃事件
 ・生麦事件... 薩摩藩の藩士が
 格好列を横切った外国人を殺す
 → 仕返して戦争へ

→ 外国は強い 今の幕府はだめだ
 → ⑯ **薩長同盟**
 ⑰ **坂本龍馬** が仲介
 ・長州藩(過激攘夷派)が外国船を
 砲撃 → 仕返しに四国艦隊で
 叩く → ポコポコにする

⑱ **大政奉還** 仕返して 慶喜による
 ↓
 ⑲ **王政復古の大号令** 政権を朝廷に返した
 天皇中心の政治になる
 外国は強まる。出てくるのは
 → 攘夷を断念
 今の幕府は弱くてダメ!
 例えるなら朝廷の政治にしよう
 ↓ by 天照

but 徳川は新政府に参加させられず
 ⑳ **戊辰戦争** ... 旧幕府 vs 新政府
 ⑰ **薩長同盟**
 元々大政奉還するときに
 朝廷の政治に決しても徳川も参加
 させられるから 政権を返してええぞ
 言われた → 戊辰戦争を起す
 徳川は負ける